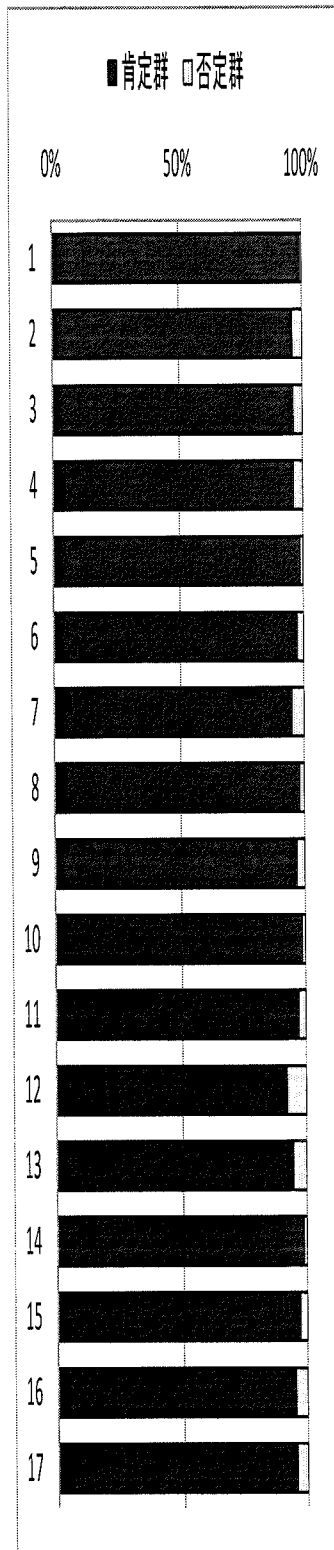


## 学校評価保護者アンケートの結果から

校長 田中 克昌

昨年、保護者の皆様にご協力いただいた、学校評価の保護者アンケートの結果をお知らせいたします。

	項目	肯定群	否定群	ポイント
1	学校は、教育目標の「考える子」にそって、どの子も伸ばす、駒本の教育に努力している。(ユニバーサルデザイン、授業スタイル、朝読書等)	99%	1%	77.7
2	学校は、教育目標の「やさしい子」にそって、心の教育に努力している。(道徳教育、アサーションプログラム等)	96%	4%	74.7
3	学校は、教育目標の「元気な子」にそって、体力向上の取組に努力している。(体育授業、駒ラン等の取組等)	96%	4%	79.4
4	学校は、教育目標の「元気な子」にそって、挨拶や言葉遣いの指導に努力している。(居ずまいを正した挨拶、4つの言葉等)	96%	4%	82.2
5	学校の教育活動に満足している。【区共通】	99%	1%	76.5
6	学校は、保護者の意見・要望を受け止めながら、協力して教育を進めようとしている。【区共通】	97%	3%	77.0
7	お子さんは、学校が楽しいと感じている。【区共通】	95%	5%	82.0
8	学校は、特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいる。(縦割り班活動、鼓笛隊の活動、一輪車、あいさつ運動)【区共通】	98%	2%	86.4
9	学校は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。(学校便り、駒本の力、学年学級通信等)【区共通】	97%	3%	81.2
10	来校時や電話での学校の教職員のあいさつや対応は、適切である。【区共通】	99%	1%	83.0
11	学校は、校長をはじめ、教職員が一丸となって教育活動に努力している。	97%	3%	82.3
12	学校は、学校生活で起きた問題(いじめ等)に対して、素早く適切に対応している。(保護者の相談等への対応)【区共通】	92%	8%	74.3
13	学校は、子どもの安全管理や事故防止に努めている。(施設の管理、登下校等の安全指導等)【区共通】	95%	5%	74.8
14	学校は、栄養バランスを考え、安全でおいしい給食を提供できている。	99%	1%	85.4
15	先生方の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。(授業公開等を通して)【区共通】	97%	3%	78.6
16	学校では、一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。(心の教育、人権教育、体罰や不適切な指導)【区共通】	95%	5%	76.9
17	学校は、特別支援教育やインクルーシブ教育の推進に向けて積極的に努力している。	96%	4%	79.9



### 【アンケート結果の全体傾向について】

- ・すべての項目について、9割以上の肯定的な評価をいただきました。
- ・特に、本校の研究テーマである『どの子ども伸ばす 駒本の教育』に向けた、本校の具体的な取組についてご理解をいただけたことは、授業公開や「学校だより」「駒本の力」等のお便りでの周知の成果であると前向きに受け止めています。
- ・子どもにとって分かりやすい授業を行っていくことは、教員の使命であること自覚し、校内研究を推進する中で、肯定群100パーセントに近づくように努力してまいります。
- ・いじめ等の学校生活で起きた問題への素早く適切な対応については、8パーセントの否定的な評価をいただき、今後の課題であるにとらえております。‘迅速’（素早く）‘分かる’（具体的な対応）‘見える’（課題解決の姿）の対応を学校全体で図っていきます。
- ・と同時に、一人一人の児童が大切にされる、人権に配慮した教育について、具体的な児童の姿を通してご理解いただけるように努力してまいります。

### 【いただいたご意見への学校としての考え】

- ・ **英語教育にも力を入れていただけると良いと思います。**

本校では、5・6年生は、週1時間、年間35時間、1・2年生は年間5時間、3・4年生は10時間程度、ALTの先生に入ってください、外国語活動を行っています。また、学期に1回程度、学校支援地域本部のご協力をいただき、早稲田大学の留学生の方を招いての交流を行っています。このような外国語や異文化に親しむ取組を通して、豊かな心の育成につなげてまいります。

- ・ 授業のユニバーサルデザイン化、アサーションプログラム、インクルーシブ教育について、**具体的なイメージが湧きませんでした。**

本校の教育活動について、より深くご理解とご協力をいただくためには、まず、教育活動を知っていただくことが第一歩だと考えております。そこで、今年度は、月2回「駒本の力」を発行し、子どもたちの様子、学校の理念や教育活動等について紹介してまいりました。今後も、本校の教育の基盤となる、「どの子ども伸ばす、駒本の教育」について、お便りだけでなく、具体的な授業の様子や子どもたちの姿等を通して示してまいります。

- ・ **通常の学級の子どもたちがもう少し障害に対して理解とやさしさを深めていけたらより素晴らしい学校になると思います。**

本校は、特別支援教育の拠点校としての自覚と責任をもち、日々の教育活動にあたっております。その中で、一人一人に応じた支援や配慮について、学校全体で考えているところです。ご指摘いただきました点については、縦割り班活動、交流及び共同学習におきましても、活動の価値を明確にもち、意義のある活動にすべく努力しております。その中で、きめ細かく児童の状況を見取り、課題等があった場合には、課題解決に向けて、学校全体で対応してまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

・やさしい子については、どのように指導しているのか分かりにくいです。

道徳、学級活動等の授業の中で、相手を思いやる気持ち等を育てていくのはもちろんですが、その他の活動においても、相手を尊重する気持ちを育てていくように取り組んでおります。

(例)・縦割り班活動において異学年とかかわる場を設け、高学年は下学年のお手本となる意識を、低学年はこんな高学年になりたいというあこがれの気持ちを育てていく機会とできるように、指導・支援をしております。

・全校で「みんな笑顔の一行詩」等に取り組み、相手と自分とのかかわりを意識させるようにしました。今後も、「駒本の力」「学校便り」等で、お知らせしてまいります。

・言葉づかいの乱れはやはり気になります。

本校では、「4つの言葉、はい、ありがとうございます、お願いします、ごめんなさい」を日頃より指導しております。この言葉を基本とし、相手も自分も気持ちよくかかわることができる、「アサーティブなコミュニケーション = アサーション」の学習を道徳の授業等を中心に取り入れております。その中で、正しい、気持ちのよい言葉遣いを学ばせてまいりますので、ご家庭でも、あいさつと同様、4つの言葉の徹底に向け、ご理解とご協力をお願いいたします。

・校庭で遊んでよい日や時間があると嬉しいです。

校庭での遊びについては、学校支援地域本部のお力で、水曜日の午後、保護者会がある日の午後に、放課後遊びを実施いただいております。また、土日の午後、文京区の「こどもひろば事業」において、校庭を開放しております。ただし、「こどもひろば指導員」の方が来られる日のみとなっておりますので、ご了承ください。

平成27年度も残すところ、あと2週間となりました。保護者の皆様、地域の皆様には、本年度一年間、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。皆様からいただいたご意見等を参考にさせていただき、平成28年度、さらに充実した一年となるように、教職員一同努力してまいります。今後とも、ご理解とご支援を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。